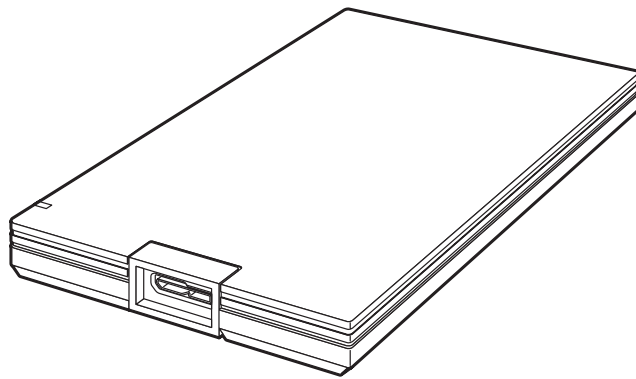


SSD-PGU3/NLシリーズ

パソコン接続時の補足情報



buffalo.jp

35021641-01
2018.08

目次

Windows編	2
フォーマット(初期化)について	2
フォーマットの形式	2
フォーマット時のご注意	2
NTFS形式/FAT32形式でフォーマットする	2
exFAT形式でフォーマットする	3
ソフトウェアのご紹介	8
Mac編	9
フォーマット(初期化)について	9
フォーマットの形式	9
フォーマット時のご注意	9
Mac OS拡張形式/exFAT形式でフォーマットする	10
Time MachineでMacをバックアップする	14
設定する前にご確認ください	14
設定する	14
メンテナンスについて	17
バックアップ	17
エラーチェック(スキャンディスク)	17
困ったときは	18
製品仕様	19

Windows編

フォーマット(初期化)について

フォーマットとは、ドライブをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。本製品をフォーマットする場合は、本書に記載の手順をご参照ください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いのOSによって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

メモ: 本製品の出荷時フォーマット形式は、本書の「製品仕様」をご参照ください。

	NTFS形式	exFAT形式	FAT32形式	Mac OS拡張形式 ※ フォーマット手順は、「Mac編」 をご参照ください。
Windows	◎	◎	○	×
Mac	△	◎	○	◎

◎: 読み取り、書き込みとも可能です(4 GB以上のファイルも扱えます)。

○: 読み取り、書き込みとも可能です(4 GB以上のファイルは扱えません)。

△: 読み取りだけ可能です。書き込みはできません(4 GB以上のファイルも扱えます)。

×: 使用できません(認識しません)。

フォーマット時のご注意

- ・ **フォーマットすると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。**
ドライブのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
フォーマットする前に、ドライブ内のデータをすべて削除してよいか、もう一度よく確認してください。
- ・ フォーマット中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。
ドライブが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。

NTFS形式/FAT32形式でフォーマットする

当社ソフトウェア「DiskFormatter2」でフォーマットを行います。下記のホームページからソフトウェアおよび取扱説明書をダウンロードしてください。

<http://d.buffalo.jp/diskformatter2/>

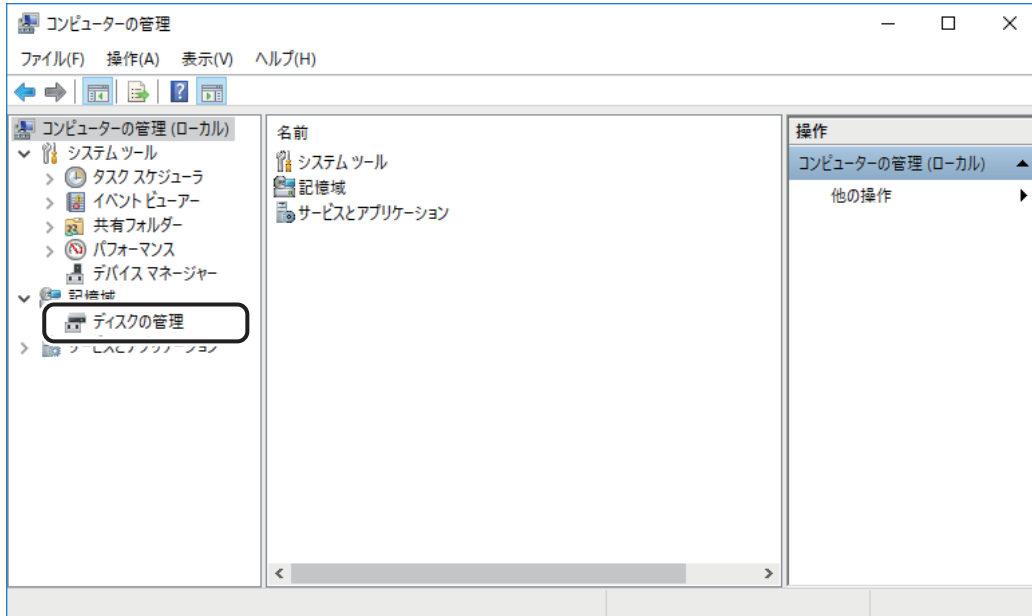
exFAT形式でフォーマットする

本製品をexFAT拡張形式でフォーマットする手順を説明します。

1 [ディスクの管理]を開きます。

タスクバーの「エクスプローラー」(📁 または 🖥️)をクリック→[PC]または[コンピューター]を右クリック→[管理]をクリック→[ディスクの管理]をクリックします。

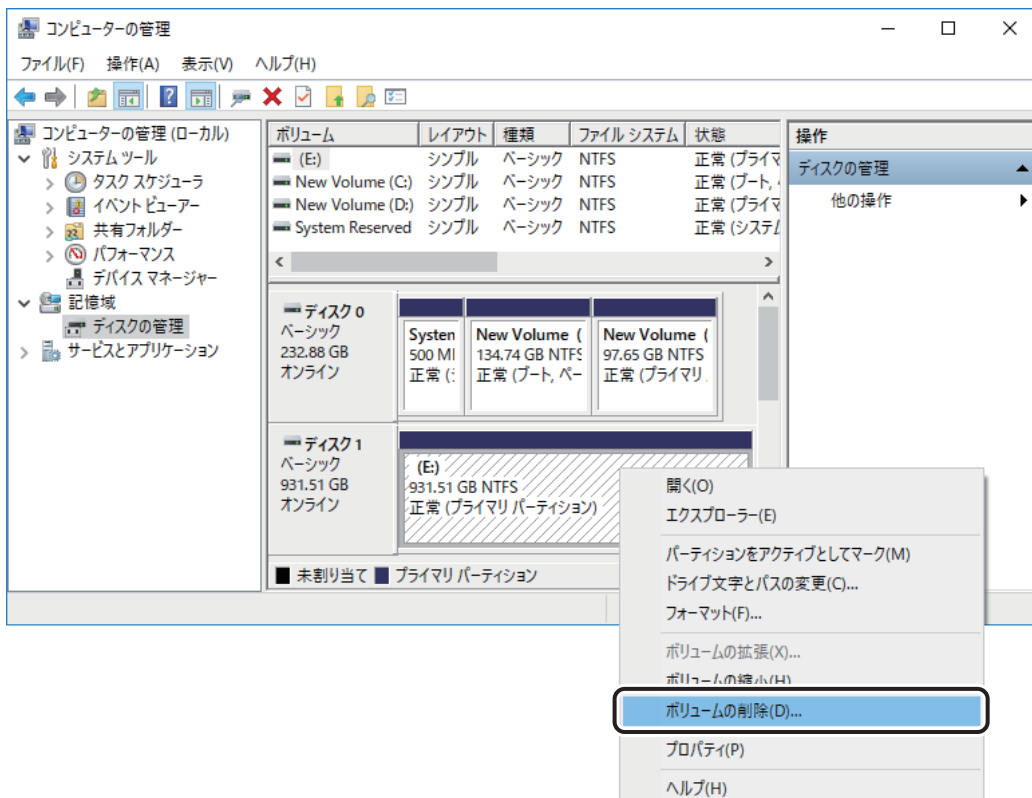
メモ:「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」を選択します。



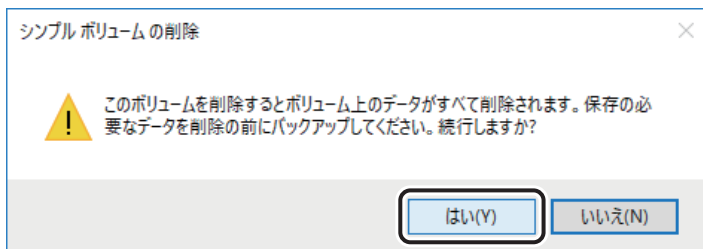
2 本製品に割り当てられたディスクを右クリックし、「ボリュームの削除」をクリックします。

メモ:

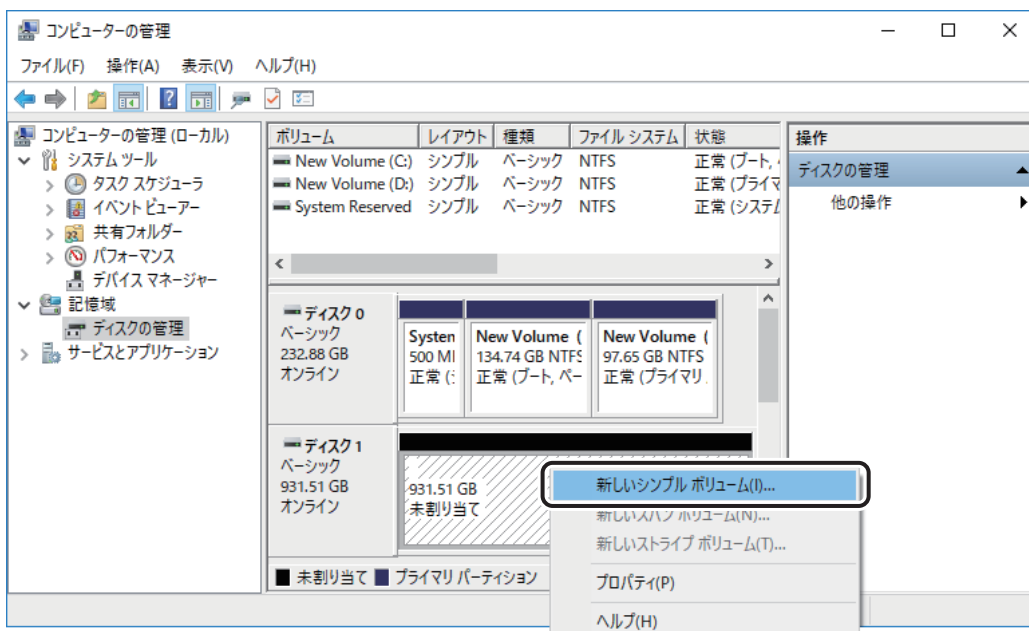
- フォーマットする対象を間違えないよう、ご注意ください。
- ディスクに「未割り当て」と表示されている場合は、手順4へ進んでください。



3 [はい]をクリックします。



4 表示が「未割り当て」になったら、本製品に割り当てられたディスクを右クリックし、[新しいシンプルボリューム]をクリックします。



5 [次へ]をクリックします。



6 [次へ]をクリックします。

メモ:「シンプル ボリューム サイズ」は、初期設定のまま変更する必要はありません。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

ボリューム サイズの指定
最小サイズと最大サイズの間でボリュームのサイズを選択してください。

最大ディスク領域 (MB): 953867

最小ディスク領域 (MB): 8

シンプル ボリューム サイズ (MB)(S): 953867

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7 [次のドライブ文字を割り当てる]をクリックし、[次へ]をクリックします。

メモ: ドライブ文字は、初期設定のまま変更する必要はありません。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

ドライブ文字またはパスの割り当て
アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てるができます。

次のドライブ文字を割り当てる(A): E

次の空の NTFS フォルダーにマウントする(M): 参照(R)...

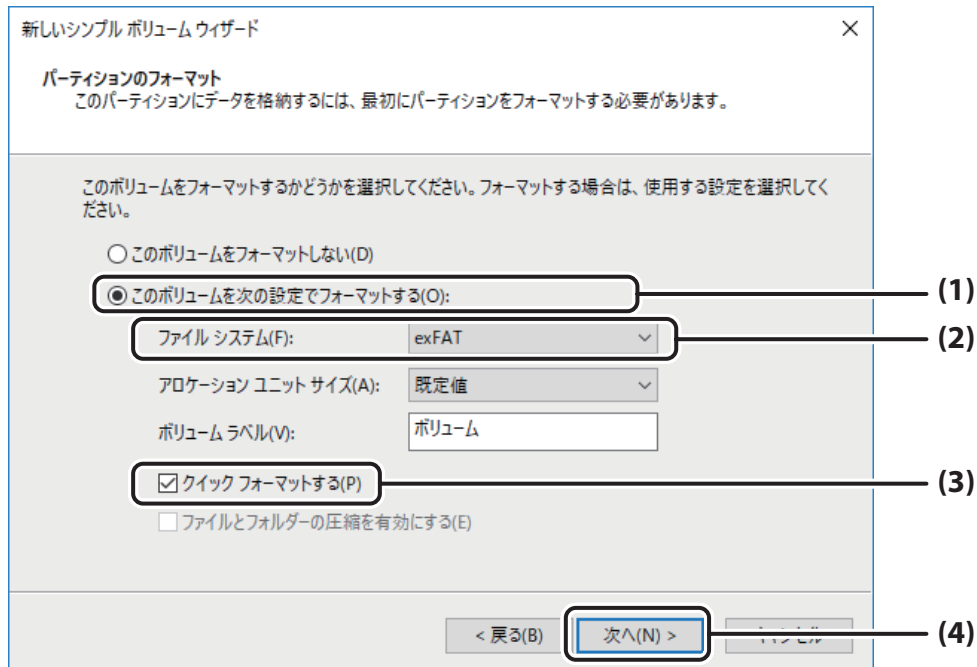
ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8 各項目を設定します。

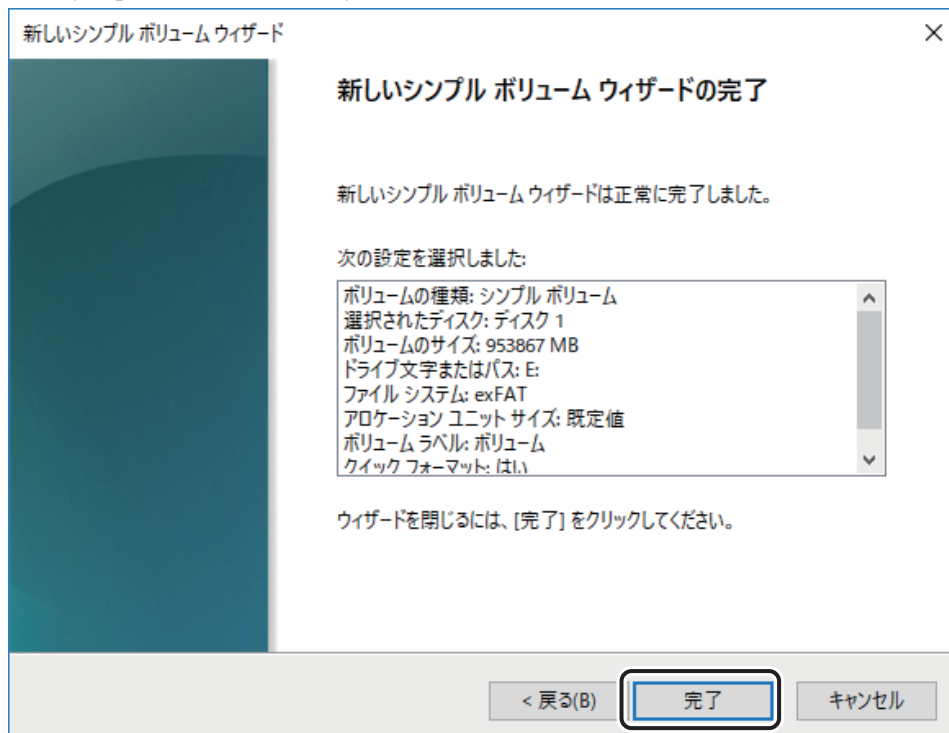
- (1) [このボリュームを次の設定でフォーマットする]を選択します。
- (2) [exFAT]を選択します。
- (3) 「クイックフォーマットする」にチェックが付いていることを確認します。
- (4) [次へ]をクリックします。

メモ:「アロケーションユニット サイズ」および「ボリュームラベル」は、初期設定のまま変更する必要はありません。

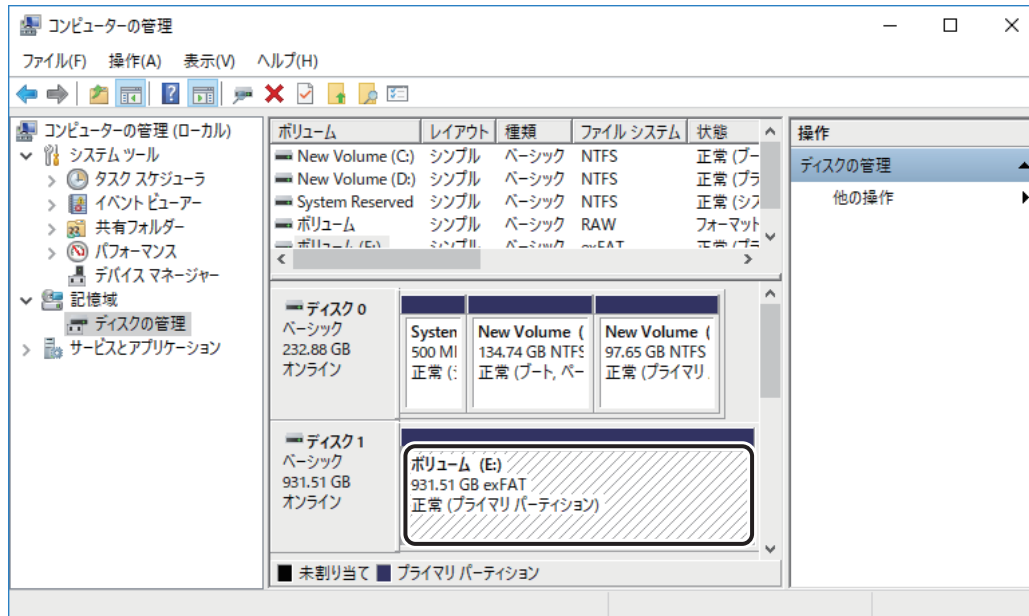


9 [完了]をクリックすると、フォーマットが始まります。

メモ: フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、[フォーマットの中止]をクリックします。



10 フォーマットが正常に終了すると、「正常」と表示されます。



「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成されたパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

- (1) 作成されたパーティションを右クリックし、[フォーマット]を選択します。
- (2) 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK]をクリックします。

メモ: [クイックフォーマットする]にチェックマークを付けると、フォーマット時間を短縮できます。

- (3) 以降は、画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアのご紹介

本製品は、以下の当社ソフトウェアに対応しています。

メモ:

- ソフトウェアを使用しなくても、データの書き込み、読み取りは行えます。
- 対応OSは、当社ホームページ(buffalo.jp)の本製品情報ページにある「仕様」をご覧ください。

ソフトウェア名	概要	ソフトウェアのインストール先	ダウンロードページ
DiskFormatter2	製品のフォーマット作業を簡単・スピーディーに実行します。	パソコン内 (Windowsのみ)	http://d.buffalo.jp/DiskFormatter2/

Mac編

フォーマット(初期化)について

フォーマットとは、ドライブをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。本製品をフォーマットする場合は、本書に記載の手順をご参照ください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いのOSによって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

メモ: 本製品の出荷時フォーマット形式は、本書の「製品仕様」をご参照ください。

	NTFS形式 ※ フォーマット手順は、「Windows編」をご参照ください。	exFAT形式	FAT32形式 ※ フォーマット手順は、「Windows編」をご参照ください。	Mac OS拡張形式
Windows	◎	◎	○	×
Mac	△	◎	○	◎

◎: 読み取り、書き込みとも可能です(4 GB以上のファイルも扱えます)。

○: 読み取り、書き込みとも可能です(4 GB以上のファイルは扱えません)。

△: 読み取りだけ可能です。書き込みはできません(4 GB以上のファイルも扱えます)。

×: 使用できません(認識しません)。

フォーマット時のご注意

- **フォーマットすると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。**
ドライブのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
フォーマットする前に、ドライブ内のデータをすべて削除してよいか、もう一度よく確認してください。
- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。
ドライブが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。

Mac OS拡張形式/exFAT形式でフォーマットする

本製品をMac OS拡張形式またはexFAT形式でフォーマットする手順を説明します。

詳しい手順は、Macのヘルプを参照してください。

メモ: OSによって手順が異なります。macOS 10.12~10.11の手順は、後述の「macOS 10.12~10.11」をご参照ください。


macOS 10.13

1  をクリックして[Finder]を表示します。

2 [移動]メニューの[ユーティリティ]を選択します。



3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

4  をクリックして、[すべてのデバイスを表示]を選択します。



5 フォーマットするドライブをクリックします。

メモ:

- 製品によって表示される名称は異なります。
- フォーマットする対象を間違えないよう、ご注意ください。



6 [消去]をクリックします。



7 各項目を設定します。

- (1) Mac OS拡張形式でフォーマットする場合は、[Mac OS拡張(ジャーナリング)]を選択します。
exFAT形式でフォーマットする場合は、[exFAT]を選択します。
- (2) [GUIDパーティションマップ]を選択します。
- (3) [消去]をクリックします。

メモ:「名前」は、初期設定のまま変更する必要はありません。



8 フォーマットが開始されます。

メモ: 「Time Machineでバックアップを作成するために“(ボリューム名)”を使用しますか?」と表示されることがあります。Time Machineを使用してパソコンのデータを本製品にバックアップする場合は、[バックアップディスクとして使用]をクリックし、Time Machineを設定してください。Time Machineを使用しない場合は、[使用しない]をクリックしてください。

9 完了した旨のメッセージが表示されたら[完了]をクリックします。



以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

macOS 10.12~10.11

1 をクリックして[Finder]を表示します。

2 [移動]メニューの[ユーティリティ]を選択します。



3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

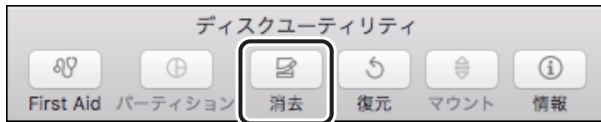
4 フォーマットするドライブをクリックします。

メモ:

- 製品によって表示される名称は異なります。
- フォーマットする対象を間違えないよう、ご注意ください。



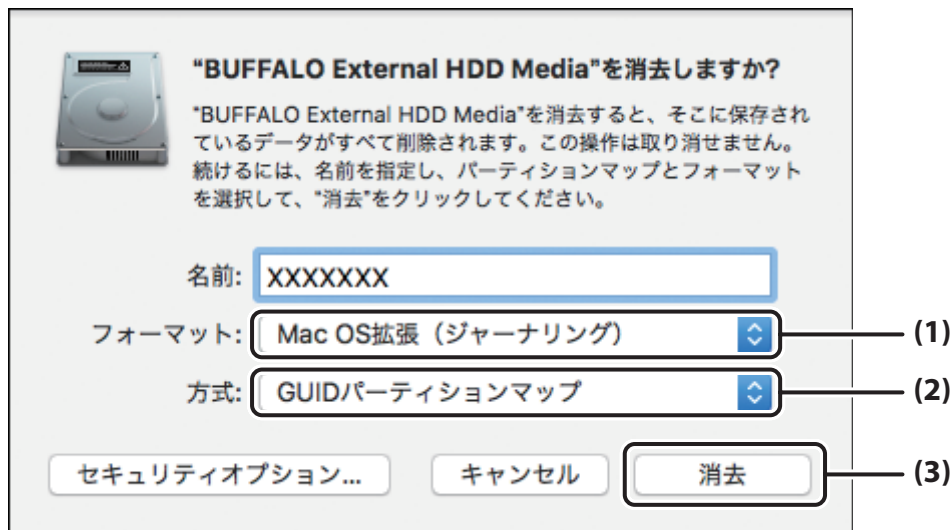
5 [消去]をクリックします。



6 各項目を設定します。

- (1) Mac OS拡張形式でフォーマットする場合は、[Mac OS拡張(ジャーナリング)] または [OS X 拡張(ジャーナリング)]を選択します。
exFAT形式でフォーマットする場合は、[exFAT]を選択します。
- (2) [GUIDパーティションマップ]を選択します。
- (3) [消去]をクリックします。

メモ:「名前」は、初期設定のまま変更する必要はありません。



7 フォーマットが開始されます。

メモ:「Time Machineでバックアップを作成するために“(ボリューム名)”を使用しますか?」と表示されることがあります。Time Machineを使用してパソコンのデータを本製品にバックアップする場合は、[バックアップディスクとして使用]をクリックし、Time Machineを設定してください。Time Machineを使用しない場合は、[使用しない]をクリックしてください。

8 完了した旨のメッセージが表示されたら [完了]をクリックします。



以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Time MachineでMacをバックアップする

Macに搭載されたバックアップ機能「Time Machine」を設定することで、本製品にMacのデータをバックアップできます。

設定する前にご確認ください

- 本製品をMac OS拡張形式以外でフォーマットしている場合、設定する前にMac OS拡張形式でフォーマットしてください。Mac OS拡張形式以外でフォーマットされていると、Time Machine設定時などにエラーが発生することがあります。
- お使いの環境によっては、Time Machine設定時に本製品がフォーマットされ、本製品内のデータが消去されることがあります。Time Machineの設定を行う前に、本製品内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- Time Machineの設定後は、本製品の「Backups.backupdb」フォルダーのデータを削除しないでください。Time Machineでバックアップしたデータは、本製品の「Backups.backupdb」フォルダーに保存されます。Time Machineで保存されたデータを削除した場合、バックアップを復元できないことがありますのでご注意ください。

設定する

Time Machineの設定手順を説明します。

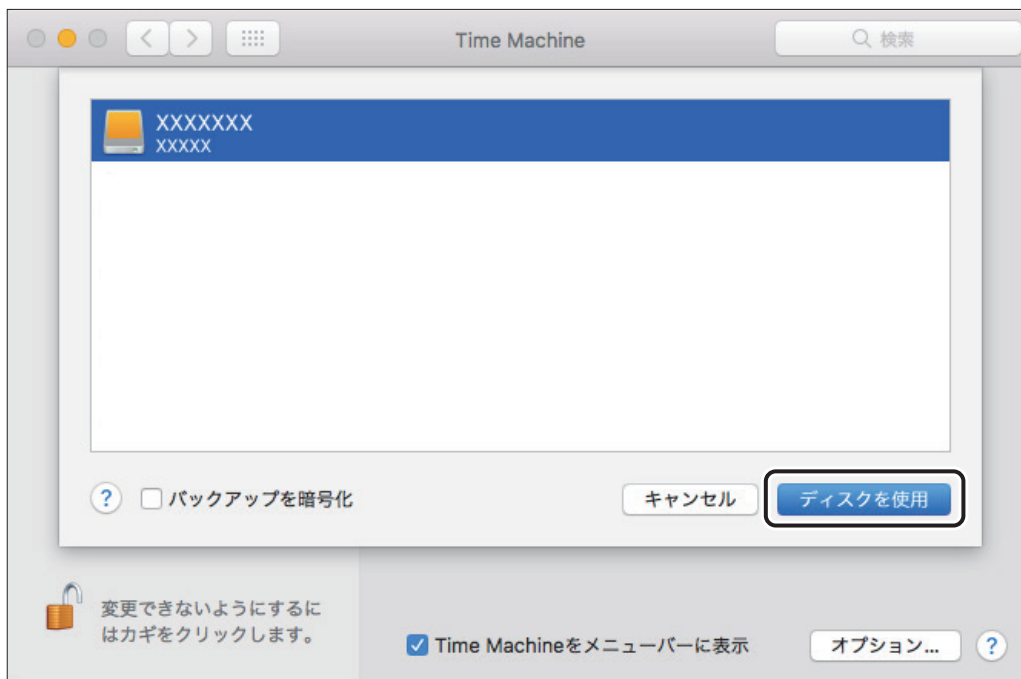
- 1 アップルメニューから[システム環境設定]を選択します。
- 2 [Time Machine]をダブルクリックします。



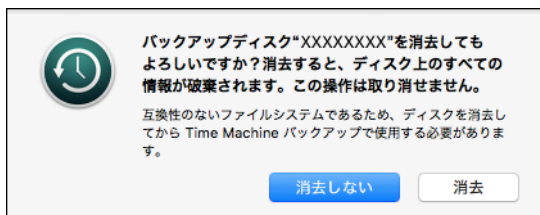
3 [バックアップディスクを選択]をクリックします。



4 本製品を選択して、[ディスクを使用]をクリックします。



以下の画面が表示されたら？



本製品のフォーマットが必要です。[消去]をクリックして、画面に従ってフォーマットしてください。

メモ:

- 本製品内のデータはすべて消去されます。本製品内に必要なデータがある場合は、[消去]をクリックする前にバックアップしてください。
- 「Time Machineのエラー」と表示された場合、本製品がMac OS拡張形式でフォーマットされていない可能性があります。本製品を取り外した後、接続しなおし、Mac OS拡張形式でフォーマットしてください。フォーマットが完了したら、手順1からやり直してください。

5 「バックアップを自動作成」にチェックが入っていることを確認します。



メモ: OS X 10.11の場合は、「入」になっていることを確認します。



以上で設定完了です。設定後、自動的にバックアップが始まります。

バックアップは、バックグラウンドで行われるため、Macの操作やシャットダウンなどは、通常どおり行えます。

復元やバックアップ対象の変更などについての詳細は、Macのヘルプを参照してください。

メンテナンスについて

バックアップやエラーチェックなど日ごとのメンテナンスについて説明します。

バックアップ

誤動作やウイルス、落雷などの自然災害、本製品の故障など、万一の事態に備え、本製品内のデータは定期的にバックアップすることをおすすめします。

バックアップとは、本製品以外の場所(他のドライブなど)にデータを複製(コピー)することです。

万一、本製品内のデータが消失・破損した場合でも、バックアップ時に複製したデータを利用できます。

なお、バックアップ後に変更した内容は、バックアップしたデータには反映されません。定期的にバックアップを行うことで、損失を最小限にすることができます。

エラーチェック(スキャンディスク)

WindowsやMacには、ドライブのエラー(異常)をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。本製品を安全に使用するために、定期的にチェックすることをおすすめします。

エラーのチェック方法は、WindowsやMacのヘルプやマニュアルを参照してください。

困ったときは

よくあるご質問とその回答を下記ホームページでご案内しています。
QRコードを読み込むことでもアクセスできます。



86886.jp/hddpc
(http://www 不要)

製品仕様

最新の製品情報や対応するパソコンについては、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

インターフェース	USB 3.1 (Gen1) / 3.0 / 2.0	
端子	USB 3.1 Micro-B	
データ転送速度(理論値)	最大 5 Gbps	
出荷時フォーマット形式	NTFS	
外形寸法(幅×高さ×奥行) ※ 本体のみ(突起物除く)	75×11.5×117 mm	
電源	USBバスパワー	
動作環境	温度	5 ~ 35 °C
	湿度	10~85%(結露なきこと)
対応OS	Windows	Windows 10(64ビット、32ビット) Windows 10 S(64ビット、32ビット)※ Windows 8.1(64ビット、32ビット) Windows 7(64ビット、32ビット)
	Mac	OS X 10.11 以降
「デバイスマネージャー」表示名 (Windows)	BUFFALO SSD-PGU3/NL USB Device または BUFFALO SSD-PGU3/NL SCSI Disk Device	

※Windows 10 Sは、ダウンロード提供ソフトウェアには対応していません。フォーマットする場合は、OS標準の機能をご利用ください。